

望みを叶えて16年

No.63

2025.10.15

発行編集:日之影町議会報編集委員会

総括質疑・P4~P5

委員長報告・P6

ボランティアアセンダー

「あなたの望み叶えます」

Team 1 2 3 4 5 6 7 8 9 Total

ひかがみ
議会だより

社会福祉協議会に聞く！住民に寄り添う福祉サービスの今



本年度の予算・決算で委託事業の増加が議論された社会福祉協議会。日之影町が進める「子育て世代や高齢者が安心して暮らせる町づくり」という方針のもと、その最前線で活動する同協議会に、実態と今後の展望についてお話を伺いました。

Q 近年の委託事業の増加には、どのような背景があるとお考えですか？

A 最も大きな要因は、日之影町が子育て支援や高齢者福祉に手厚い予算を投じていることだと認識しています。例えば、共働き家庭が増える中で、保護者の負担を軽減するための一時預かりサービスや、親子が交流できる居場所づくり事業が、町からの委託によって拡大しています。

また、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、買い物代行や福祉車両の貸し出しといった生活支援サービスも増えています。町の政策と私たちの活動が連動することで、住民の皆さんの細かなニーズに応えられています。

増える専門性と担い手の課題

Q 委託事業の増加に伴い、体制面でどのような変化がありましたか？

A 業務が増えただけでなく、より専門的な知

識が求められるようになりました。利用者一人ひとりの状況に合わせた支援を提供するため、専門の知識を持つ職員の増員や研修に力を入れています。しかし、サービスを担うボランティアや専門職の人材確保は依然として大きな課題です。住民の皆さんに支援の輪に加わっていただくための工夫も必要だと感じています。

議会・行政との連携でより良い町へ

Q 最後に、今後、議会や行政に望むことは何ですか？

A 社協の全事業において役場、議会の協力、ご理解共に変感謝しています。県内において日之影町の社協は行政と連携が密に行われ、協働できていて羨ましいと評価を頂くほど連携がとれています。その1番の要因は行政が社協を信頼してくれていることだと思います。今後もその期待に応えられるよう努力していきますので、行政、議会と協力して町内の福祉課題を解決できればと考えています。

◆「社協」とは？

- ・地域福祉を推進する中核的な団体
- ・従業員数51名

◆ 主な委託事業

子供からお年寄りまで幅広い世帯への支援

- ・給食配食サービス
- ・買い物支援
- ・見守りシステム事業
- ・子供広場事業 など



【インタビューを終えて】

今回のインタビューを通じて、社会福祉協議会の活動が、日之影町の福祉政策と深く結びついていることが分かりました。議会としても、同協議会との連携をさらに強化し、住民一人ひとりが安心して暮らせる町づくりに貢献してまいります。

第3回定例会 注目議案

全て原案可決

議案番号	件名	概要
議案第31号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正	現行制度で1日2時間までの取得範囲を、年間10日相当時間の範囲内で、1日当たりの上限時間数をなくして育児時間を取得できるように、取得パターンの多様化を令和7年10月1日から適用するもの。
議案第32号	日之影町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正	精神障害者保健福祉手帳1級所持者の通院及び入院の一部について助成の対象とするもので、令和7年10月1日から適用するもの。
議案第33号	日之影町使用料及び手数料徴収条例の一部改正	現行条例では手数料が増額となるため、これまでの交付枚数に応じた料金から、申請件数に応じた料金に改めるとともに、記載内容の一部を改正するもの。
議案第34号	令和7年度日之影町一般会計補正予算（第2号）	災害復旧事業のほか、耐震性貯水槽工事請負事業及び鳥獣被害防止総合対策交付金関係事業等に係る補正が主なもの。歳入歳出それぞれ9,860万円の追加とし、予算の総額を62億9,340万円とするものです。
議案第35号	令和7年度日之影町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	国民健康保険税及び繰越金の確定に伴う補正が主なものです。歳入歳出それぞれ25万円の追加とし、予算の総額を6億7,351万円とするもの。
議案第36号	令和7年度日之影町介護保険特別会計補正予算（第2号）	過年度の地域支援事業、低所得者保険料軽減繰入金精算及び令和6年度の繰越金の確定に伴う補正が主なもの。歳入歳出それぞれ2,713万円の追加とし、予算の総額を6億6,668万円とするもの。
議案第37号	令和7年度日之影町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	後期高齢者医療保険料と繰越金及び保険料負担金の確定に伴う補正となる。歳入では、後期高齢者医療保険料は399万円の追加、繰越金は50万円追加し、歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金は448万円の追加、予備費は5千円の追加となり、歳入歳出それぞれ449万円の追加とし、予算の総額を6,830万円とするもの。
議案第38号	令和7年度日之影町簡易水道事業会計補正予算（第2号）	手数料及び修繕費、人件費に係る補正。他会計補助金は362万円を追加し、支出では、営業費用の原水及び浄水費は282万円の追加、配水及び給水費は40万円追加、総係費は40万円の追加となり、収益的収入及び支出の予算総額を1億1,232万円とするもの。
同意第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	押方良章氏を選任（再任）。 任期：令和7年9月27日～令和10年9月26日
議案第39号	日之影町議会議員及び日之影町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正	選挙公営に係る選挙運動用ビラ及びポスター等の作成単価が引き上げられたことから、国の基準を参考として規定している本条例について、所要の改正を行うもの。

日之影町重度心身障がい者医療費助成制度とは

公的医療保険で支払った医療費の一部を助成する制度

■助成対象者と金額

重度の方（身体障害者手帳1・2級など）：20歳未満は医療費全額、20歳以上は1医療機関あたり自己負担1,000円/月（入院の場合）、500円/月（外来受診）を差し引いた額。

■利用方法

受診時に健康保険証と受給資格証を窓口で提示してください。手続きには障害者手帳や通帳などが必要です。

総括質疑 総務文教常任委員会

第5次日之影町長期総合計画の最終年度における事業の投資効果および行財政運営について

【町長】満足度が高かった施策

子育て支援、健康づくり、高齢者福祉、学校教育。

満足度が十分でなかった施策

道路交通網の充実、定住移住対策、住宅整備、商工業・観光の振興。

今後は満足度が低かった分野に注力していく方針。

■行財政運営

実質収支は黒字（504万6千円）で、基金へ約2億8,000万円を積立。

■課題

実質公債費率の上昇、歳入の81.7%を占める依存財源の高さなど、厳しい財政状況が続く。

子ども家庭センターの設置の意義とスポーツ振興について

【町長】

子ども家庭センターの設置により、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制が強化された。

【教育長】

第81回国民スポーツ大会（なぎなた競技）の準備は着実に進行。準備委員会から実行委員会への移行、先進地視察、町民へのPR活動などを実施。

健康寿命を延ばすための運動啓発と、介護人材の確保・育成支援について

【町長】

防災無線やデータ放送を活用したラジオ体操の放送や、「元気はつらつ教室」の実施など、多角的に取り組んだ。

介護人材育成のため、研修費用助成や処遇改善などを実施。

関連質疑

問 町民アンケートで満足度が低かった道路交通網について、財政状況が良いのだからもう少し投資できたのではないかと

【町長】

これまで災害復旧を優先してきたが、今後は必要な投資を行っていく考えである。

問 今後の財源確保策としてふるさと納税について

【町長】

返礼品による寄附金には限界があるため、今後は企業版ふるさと納税を積極的に推進していく方針である。

問 国民スポーツ大会の開催において中学校体育館空調設備はどのようにする計画か

【教育長】

費用対効果から「スポットバズーカ」導入などの案を検討している。

問 日之影町からの選手の育成状況はどうか

【教育長】

なぎなた教室などを開催しているが、期間での国スポ選手の育成は難しいのが現状。今後とも、子供達が興味を持ってもらえる様、普及啓発活動の取組を継続していく。

問 物価高騰や人件費増に対応するため、国に地方交付税の増額を提言した実績はあるか

【町長】

町村会長として毎年国に要望活動を行っている。宮崎県の中山間地域の実情を伝え、地方財源の確保を強く要望している。

問 データ放送で流れるラジオ体操や神楽工クササイズの内容は、長年変わっていないが、更新の検討はされているか

【町長】

日之影弁バージョンや体操の内容について様々な意見があり、担当課も対応に苦慮しているのが現状。今後は内容の更新を検討していく。

総括質疑 経済建設常任委員会

農業の担い手確保から観光振興に至るまで、各施策の相乗効果について

【町長】

■農業

新規就農者への支援、地域おこし協力隊の活用、ドローン防除の増加、畜産農家への緊急支援などを実施。

■林業

循環型林業を維持するため、再造林への支援やコンテナ苗生産者の育成に力を入れている。

■商工業・観光

物価高騰対策の商品券発行事業、道の駅「青雲橋」の売上増加、森林セラピーや地域アプリによる誘客・情報発信を行った。

地域脱炭素化について、再生可能エネルギー導入のポテンシャル調査の結果について

【町長】

公共施設13か所を調査し、道の駅や保健センターなど4施設が太陽光発電設備の候補地の可能性があるといった結果が出た。分析結果を元に今後、様々な意見を聞きながら検討していく。

振興投資が人口減少対策に寄与した結果について

【町長】

民間賃貸住宅の建設補助金が8名の移住に結びついている。

子育て支援策の充実が、令和6年の婚姻数と出生数の増加に結びついた。

道路、公共交通、行政のデジタル化に対する投資の分析について

【町長】

■道路

災害復旧を最優先に進めつつ、社会基盤整備交付金等を活用した道路改良工事を進めてきた。

■公共交通

利用者の少ない集落線を廃止し、予約型乗り合い交通へ移行した結果、利便性が向上した。

■行政のデジタル化

「ひのかげアプリ」や公共施設予約システムを導入し、住民の利便性向上に貢献した。

関連質疑

問 物産販売のPRと新規就農者の確保との相乗効果について

【町長】

収益性の向上が担い手確保につながり、両施策の連携が重要である。

問 日之影町村おこし総合産業株式会社の事業見直しについて

【町長】

運営組織の形態そのものの見直しは検討していないが、各施設の管理方法など雇用への影響も考慮しながら内部で検討を進めている。

問 下顔小崎間の橋梁建設について

【町長】

事業費が100億円を超える大規模プロジェクトのため、町単独では困難。県や国への要望活動を積極的に行い、九州中央自動車道の整備計画と連携させて事業化を目指している。

問 業務デジタル化導入は職員の業務負担を軽減したか

【町長】

現在はデジタルとアナログが同居する過渡期であり、職員は導入に苦労している。しかし、日之影アプリのように一度導入してしまえば非常に便利になり、特に災害時の情報確認などで大きな効果を発揮している。自治体情報システム

標準化もあるため、この

時期の苦労を乗り越えれば、今後

効率化が進むと期待している。



決算審査特別委員会 委員長報告書

委員長 久保 優一

本委員会に付託された、令和6年度一般会計及び特別会計7議案について、委員長報告を行います。

まず、財政については、令和6年度決算において、歳入の81.7%を依存財源が占める脆弱な基盤は変わらず、厳しい状況が続いています。しかし、地方交付税や国庫支出金を活用し、財政調整基金の取り崩しを行わず約1億9千万円を増額するなど、堅調な運営が維持されていると評価できます。今後は、この信頼を足掛かりに企業版ふるさと納税制度等の財源獲得に尽力することを求めます。

次に、第5次日之影町長期総合計画の最終年度として各種施策の評価を行いました。子育て支援、健康づくり、学校教育といった分野は高く評価できる一方、町民アンケートで満足度が低かった定住・移住対策、良質な住宅整備、道路交通網の整備、商工業・観光の振興など、中長期的な課題も浮き彫りになりました。これらについては、第6次日之影町長期総合計画で重点的に取り組むとの答弁があり、議会としてその着実な施策執行を注視していきます。

最後に、各部署における人員や時間の制約は承知していますが、これまでの委員会での各種提案に対し、精査・検討が不十分であったことが散見されました。これは今後の課題として指摘せざるを得ません。決算審査を通して、議会と行政は立場が異なりますが、目指すところは「町民の暮らしを守り、持続可能な地域社会を築く」という共通の目標です。この目標達成のためには、両者の連携強化が不可欠です。今回の決算委員会が、今後の町政運営の更なる発展に向けた一つの転機となることを期待します。

本委員会では出された建設的な意見を今後の町政運営に反映していくことを付け加え、本委員会に付託された7議案については、原案の通り可決すべきものと決定しました。

決算認定前の質疑

【高館議員】

村おこし総合産業株式会社との令和6年度運営について、町長・副町長それぞれの取組姿勢を伺う。

【町長】

物産販売所から発展し、観光案内所や特産品販売を継続し町内産品の売上は全体の約5割。レストランはリピーターが増加している。雇用の場としても重要であり、今後も特産品の販売・雇用創出に努める。

【副町長】

人材不足が課題であり、令和7年度では総括課長を支援するため、相談・アドバイザーできる人材を採用し、また海外人材の導入も進め、職員が生き生きと働ける環境を重視してきた。

【高館議員】

営業部門と観光部門の切り分け提案が反映されていないがトップ・担当課・現場スタッフの意思疎通は必要不可欠、方向性が固まる前に担当課へ早めに共有すべき。



【町長】

方針はトップで協議し、固まってから担当課と議論する考えだったが提言を踏まえ、今後はスピード感を持って改善していきたい。

【甲斐議員】

全体的な総括質疑になるが担当課より予算が議決された事でスムーズな予算執行が行えたとの答弁もあり、「議決」、「執行」、「結果」が明確になることが次年度に向けた検証になった。次年度は「増やす・減らす」のメリハリをつけ、町民にも説明できる体制を行うとともに町長が先頭に立って共に行動する姿勢が必要ではないか。

【町長】

若手職員が多い現状をチャンスと捉え、教育・研修を強化して次世代の体制をつくっていききたい。



タブレット規則の制定

日之影町議会では、議会活動の効率化を目指し、タブレット端末を導入することいたしました。その一歩として、このたび運用のための新たな規則が制定されました。

■導入に向けたこれまでの取り組み

これまで、議会の本会議や委員会では、膨大な量の資料を紙で印刷し、配布してまいりました。これは、資料準備に多くの時間やコストがかかるだけでなく、環境への負荷も課題となっていました。

【3月】これらの課題を解決するため、令和7年度当初予算にタブレット導入関連経費が盛り込まれ、可決されました。

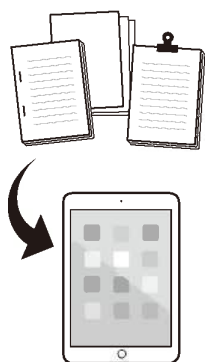
【7月】全員協議会で、導入に関する説明を受けました。長年の慣習を変えることへの戸惑いや、使いこなせるかという不安など、様々な声が上がると、タブレット運用のために新たな規則の制定が必要との意見が出されました。執行部と合同で、ペーパーレス会議システムのデモを実施し、利便性を互いに確認しました。

【9月】議員発議により、運用を可能にするための「日之影町議会タブレット端末貸与及び運用規則」が制定されました。これは、全員がデジタル化の必要性を理解し、一歩踏み出す決意の表れでもあります。

■今後の展望

タブレットの受け入れと本格的な活用に向けた準備を進めてまいります。運用が開始すれば、会議資料はすべてデータで共有され、迅速な情報共有と環境負荷の軽減が実現します。

この取り組みを通じて、本会議はもちろん、皆様との意見交換や災害時の迅速な情報共有など議員活動にも積極的に活用し、議会活動の「見える化」をさらに進め、住民の皆様にとって、より開かれた議会を目指してまいります。



郵便はがき

8 8 2 0 4 0 1

恐れ入りますが、85円分の切手をお貼りいただくか議会事務局までご提出ください。

日之影町大字七折9079

日之影町議会事務局 行

氏名（掲載しません）

ペンネームなど



ご意見箱設置場所

- ・役場玄関
- ・道の駅レストラン前

更により良い議会だより
町づくりのため
皆様の声をお聞かせください!

議会放送開始から数年が経過し、折に触れて町内の皆様からご意見を頂くことが増えてまいりました。

つきましてはこの度は、議会放送に関するご意見を集めたいと思っております。

放送時間についてや音声の質など日頃思う所がありましたら改善に生かしたいと思っておりますので遠慮なくお寄せください。

提出はハガキ、ご意見箱、メール (gikai@town.hinokage.lg.jp) でお受けいたします。
なお、いただいたご意見は、個人情報保護の上議会でのみ使用します。

一般質問

外国人材の受け入れと共生について

町長 安心・安全な生活環境の整備

教育長 文化交流を通じた相互理解の促進



久保 優一
議員

問

人手不足が深刻な中、外国人材の受け入れは不可欠である。彼らが地域に定着するには、日本語の習得や生活環境の整備が重要です。町として受け入れ体制の構築が必要であることから、認定日本語学校の設置や、町内での「登録支援機関」の設置、閉校した八戸小学校の宿舍や町内遊休地の農園としての活用、そして双方の異文化学習の機会創出について伺う。

町長

外国人材の受け入れを地域活性化の機会と捉え、安心・安全な環境整備に尽力する。登録支援機関の公的な設置は難しいが、事業者に依頼し相談窓口を設けることは可能だと考える。八戸小学校は産学官連携で活用の検討を進めているが、住宅整備を

教育長

行うならば住民の理解を得ながら進める必要がある。外国人農園については、生活コスト削減や共生に有効な提案であり、検討を行う。

日本語学校の設立は困難だが、学習の機会が必要であり、関係機関と連携を図っていく。外国人材との文化交流は、互いの理解を深める上で非常に重要である。学校や地域社会活動の場を通して、暖かい交流の機会を検討していく。



日本語教室の授業風景

おたよりコーナー

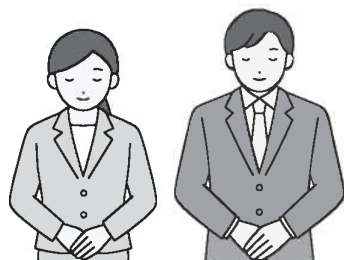
いつもたくさんのご意見
ありがとうございます。



先月号で寄せられた「その後、結果」に対するご意見について協議しました。

質問、質疑の結果検証について正確を期すには議会のみでは行えない事もあり、行政との調整を行っています。

もう少し時間がかかりますが検証が終わったものから順次掲載していきたいと思っております。



◇あなたの年齢は？（○をつけてください）

10代・20代～30代・40代～50代・60代以上

◇「議会放送」に対するご意見ご感想

◇町や議会に対するご意見

ありがとうございました

注 目 予 算

「集落防災の強化!」

暮らしを守る山村集落環境整備事業910万円

地元消防団からの要請を受け既存の漏水している防火水槽を撤去し、耐震性の地下埋設型防火水槽を設置するもの。(うち600万円県補助)



「沢山のイベント創出に!」

イベント等支援事業補助金10万円

新規

近年、住民で構成される実行委員会による主体的なイベントが増えており、資金確保に苦慮している状況に対応するため補助金制度を新たに創設。(補助対象経費の2分の1以内、上限10万円)



「安全第一を町がサポート!」

林業従事者安全装備等支援事業補助金60万円

新規

林業事業体や林業従事者に対して、ヘルメットや防護ズボンといった安全装備の導入を支援するもの。(財源は森林環境譲与税、補助率2分の1)



「生産意欲向上により駒打ち増加!」

椎茸生産振興対策事業補助金12万円

前年比で種ごまの購入実績が9万6900個増加したため、当初の予算では不足が生じ、補正予算で追加された。



「施設の適時適切な修繕!」

温泉駅修繕料285万円

- エレベーターの修繕
224万円
- 2階浴場外部の木製
手すりの修繕
23万円
- 2階トイレへのウォ
シュレット設置
37万円



「みんなの公民館を快適に!」

公民館補助金24万円

既に申請されていた各公民館の屋根裏補修費用の追加分と新規で申込があった公民館の水道施設改修費用。(新たに配管を行う事で冬場の温水対策をするもの。)



議会活動状況 (7月16日～10月15日)

7月

16日 県道宇納間日之影線整備促進期成同盟会総会
(美郷町)



17日 出産祝金贈呈式
日之影町自衛隊家族会定期総会

18日 2025 原水爆禁止国民平和
大行進

高速自動車国道建設促進宮
崎県期成同盟会総会

(宮崎市)

宮崎県鉄道整備促進期成同
盟会総会 (宮崎市)

23日 議会運営委員会正副委員長
研修会 (宮崎市)

25日 農業委員・農地利用最適化
推進委員への女性の積極的な
登用について要請

日之影町教育委員会意見交
換会

26日 日之影町消防操法大会
27日 第2回市町村長等・議会議員
29日 セミナー (滋賀県)
30日 全員協議会

30日 ペーパーレス会議システムデモ



8月

8日 正副議長研修会 (宮崎市)
地方行政問題協議会

(宮崎市)

16日 夏まつりひのかげ2025

19日 西臼杵広域行政事務組合臨
時会 (高千穂町)

20日 九州中央自動車道建設促進
地方大会 (高千穂町)

22日 西臼杵郡森林・林業活性化協
議会役員会 (高千穂町)

九州中央道整備促進西臼杵議
会特別委員会理事会

(高千穂町)

25日 議会運営委員会・全員協議会
九州中央自動車道 (蘇陽～高
千穂間) 建設促進期成会総会



26日 宮崎県森林・林業活性化議員
連盟連絡会議総会 (宮崎市)

27日 浜谷まつり実行委員会

28日 熊本・阿蘇幹線道路整備促進
期成会通常総会

(熊本県・大津町)

9月

2日 第3回定例会 (開会)

7日 公民館対抗ソフトボール大会

9日 第3回定例会 (一般質問)

10日 申請書作成支援サービス開
始式

12日 第3回定例会 (総括質疑)

16日 決算審査

17日 決算審査

18日 地域おこし協力隊辞令交付式

19日 第3回定例会 (閉会)

28日 宮水・日之影・高巢野小学校
運動会



10月

1日 固定資産評価審査委員会委員
辞令交付式

3日 ひのかげ近未来会議

8日 病院事業運営評価委員会
(高千穂町)

9日 議員大会・全議員研修
(高原町)

10日 視察研修 (宮崎市)

発行責任者
議長 甲斐 陸彦
議会報編集委員
委員長 久保 優一
副委員長 一水 輝明
委員 河野 學
委員 高舘 英嗣
委員 小谷 幸治

猛暑を感じた9月までが信じられないほどに朝晩が涼しくなってきました。昨年からは米不足という状況が続いていましたが、この議会報が届く頃には概ね稲刈りも終了している方々が多いのではないかなと感じています。さて秋は実りの秋、スポーツの秋、勉強の秋と様々な呼び方があるように、春先に種を蒔いた事柄が実り始める時期という意味合いを持つているのだと思います。秋の実りに感謝し、次年度に向けてさらに成長できるように今以上に努力していきたいと思えます。今後とも議会の動向に注目していただけると幸いです。

高舘 英嗣

編集後記